

令和6(2024)年度 坂東市立生子菅小学校グランドデザイン

茨城県教育目標

- 一人一人の能力を開発し豊かな人間性を培う
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力し合う心を育てる

いばらき教育プラン (茨城県総合計画より)

基本理念「活力があり、県民が一番幸せな県」
Ⅲ「新しい人財育成」
茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県

坂東市「ひとづくり」基本方針 2 (坂東未来ビジョン 第2期戦略プラン 2022~2025より)

- 未来を担う子どもを守り育てる教育の充実
- 1 学校教育環境の充実
 - 2 時代の変化に即した教育の推進
 - 3 健やかな心身を育てる教育の場の充実

学校教育目標 清く 正しく 健やかに

めざす児童像

よく学び (共学)	よく考え (共考)	よく遊ぶ (共遊)
自ら学ぶ子	思いやりのある子	元気に遊ぶ子
進んで表現する子	協力し合う子	丈夫な体をつくる子
学びを深める子	自分の責任を果たす子	命を大切にする子

求める教師像

情熱あふれる教師
一人一人を大切にする教師
工夫を惜しまない教師

めざす学校像

楽しい学校
安心安全な学校
信頼される学校

組織目標

信頼と喜びにあふれた学校づくり
~健やかで「学校が楽しい」と思えるように~

授業中での人づくり

RPDCAによる改善・充実

~坂東市魅力ある学校づくり推進事業~
小中連携を深め
目指す児童生徒像を共有し
9年間を見通した教育を行う

合言葉は

- ◎学校が楽しい 100%
- 自分の命は自分で守る
- 生子菅小001

確かな学力の育成

- 1人1台端末を活用した、子供たち一人一人の問いを引き出す、個別最適な学びの実現
- 「生子Qステップ」による取組
 - ・ICTの効果的な活用(わかる授業の確立)
 - ・個々の理解や関心の程度に応じた学び
 - 主体的に取り組める「授業の実践」
 - ・「学習の振り返り」の充実(キャリア教育視点の提示)
 - ・各種調査・テストのRPDCAサイクル
 - 「生小スタイル」の実践
 - ・「生小授業スタイル」の共通理解と継続的な指導
 - 家庭との連携による基礎基本の底上げ
 - ・チャレンジ週間の推進と結果データの活用
 - ・「自主学習の手引き」を活用した学習指導

- 「授業がわかった」90% (魅力あるアンケート)
- 「進んで取り組めた」80% (魅力あるアンケート)
- 「協働学習ができた」80% (学校評価)
- 「花まるテスト(国・算)」90点以上90%
- 県学力診断のためのテスト⇒前年度+α

豊かな心の育成

- 心のよりどころとなる学級づくりを推進し、心豊かな児童の育成
- 学級経営の充実
 - ・児童一人一人に居場所のある学級づくり
 - ・主体的な学級活動の推進(自立した話し合い活動)
 - ・問題行動の早期発見⇒共有⇒早期解決(夕方までに)
 - コミュニケーション力の育成
 - ・「あいさつは自分から」~本物の挨拶~
 - ・みんなが楽しく生活するための「楽々ことば」
 - 児童相互の心が通い合う絆づくり「ふあむサポート」
 - 考え、議論する道徳授業の実践
 - 教育相談の充実
 - ・「相談ボックス」の設置と「生活アンケート」の活用
 - 心の潤う花と緑の豊かな教育環境づくり

- 「学校が楽しい」100% (学校評価)
- 「友達と協力できた」90% (学校評価)
- 「責任ある行動ができた」90% (学校評価)
- 「進んであいさつ」90% (学校評価)

健やかな体の育成

- 運動に親しむ環境を整え、心身ともにたくましく、ねばり強い児童の育成
- 1人1台端末を活用した体カテスト課題の改善
 - ・投力(キャッチボールマスター等)、持久力(持久走)体幹力アップ(なわとび)
 - 健康の保持・増進とさらなる強化
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
 - ・歯科保健指導の充実
 - ・視機能低下対策の強化(アイアイ体操の通年実施)(目の健康に関する指導の充実)
 - ・正しい姿勢の意識付け(机・いすの適切な高さ調整)
 - 食育の充実と推進
 - ・栄養教諭による食育指導と毎日の給食指導の充実

- 縦割り班遊びの充実
- 体カテストA+B60%
- 投力⇒体カテスト(令和5年度県平均値)+1m
- 「なんでも一口」⇒80% (学校評価)
- 虫歯児童歯科医受診率⇒80%

コミュニティ・スクール

安心・安全な学校づくり

- 「生子菅小児童見守り隊」との連携・協力
- 避難訓練による危険への予測・回避能力の育成
- 安全管理の徹底(複数の目で見る安全点検)
- 学区内安全マップの修正・改善⇒周知と共通実践
- 性被害防止・生命(いのち)の安全教育の積極的な実施

地域とともにある学校づくり

- 保幼小中連携による魅力ある学校づくりの推進
- ホームページ及びメールでの積極的な情報発信
- 地域の人財を活用した学習活動(お茶・猿島ばやし)
- 学校運営協議会での「課題の共有化」(学校評価)
- 地域との交流による郷土愛・豊かな心の育成

働き方改革スローガン: 「子供のために自分のために 早く帰って 明日へチャージ!」

自分の命は自分で守る



地域とともに歩む

